



こども感染症情報

14.86
週報第500号

☆ 管内の主な感染症の流行状況 ☆

疾患名	管内状況第31週(7/28~8/3)※	
	発生数(人)	前週との比較
感染性胃腸炎	10	↑
溶連菌咽頭炎	7	↑
ヘルパンギーナ	33	↑
手足口病	1	↓
水痘	0	→
流行性耳下腺炎	0	→
突発性発疹	2	→
伝染性紅斑	0	→
RSウイルス	0	→

(参考) 秋田県の状況 ※ 第30週(7/21~7/27)
<全県の発生状況>
1位: ヘルパンギーナ (全県で前週より9%減少)
2位: 感染性胃腸炎 (全県で前週より50%減少)
3位: 溶連菌咽頭炎 (全県で前週より39%減少)
4位: 流行性耳下腺炎
5位: 流行性角結膜炎
大館、北秋田地域 警報: ヘルパンギーナ
横手地域 警報・注意報 ありません

※「管内状況」は横手保健所管内の5小児科医療機関による
※「秋田県の状況」は秋田県感染症情報センターによる

横手地域・学校欠席者情報(8/5)

疾患名	感 染 性 胃 腸 炎	イ ン フ ル エ ン ザ	水 痘	マ イ コ ブ ラ ズ マ	お た ふ か ぜ	溶 連 菌 咽 頭 炎	手 足 口 病	伝 染 性 紅 斑
施設 (数)								
保育所・園 (33)						1	3	
小学校 (22)								
中学校 (8)								
高校、他 (7)								

腸管出血性大腸菌感染症 県内30週報告 4人

県内では30週(7月21日~7月27日)に
4人が診断されています。
例年7月~9月に患者報告が多くなっています。



予防

- 手洗い
*トイレの後、食事や調理の前には流水と石鹸で
- 調理器具は十分に洗浄
*生肉等から他の食品への菌の汚染を防ぐ
- 食品の中心部まで十分に加熱
*腸管出血性大腸菌は75℃、1分以上の加熱で死滅

夏休み